

■社会学研究科 一般入試 社会人入試 留学生入試 (9月試験・2月試験)

1. 出願資格

【出願の際の手続き】

出願するためには、事前に希望指導教員からの「内諾」が必ず必要となります。

本学大学院ホームページの教員一覧より、希望指導教員を確認し、自身で希望指導教員に直接連絡をとり、研究計画について相談のうえ「内諾」の連絡を受けとってください。

(内諾確認方法)

WEBサイトから「内諾確認書」をダウンロード → 希望指導教員に記入をメールで依頼 → 出願書類と併せて学部事務室へ提出。

「内諾確認書」がない場合には出願することができませんのでご注意ください。

なお「内諾」は合格を保証するものではありません。

あくまでも、出願資格を認めるというものです。

「内諾」の手続きには1週間程度の時間がかかりますので、研究計画についての指導教員への相談は出願期日までに完了してください。

(2025年8月9日～8月18日と2025年12月25日～2026年1月5日の期間は、対応できませんのでご注意ください。)

【教員一覧】

<https://www.andrew.ac.jp/researchers/c5o8gl00000000e1.html>



【各入試区分共通】

※出願資格(3)(社会人のみ(3)(4))による志願者は、必ず出願期間前に学部事務室までお問い合わせください。

【一般】

下記の(1)～(3)のいずれかに該当する者。

(1) 大学を卒業した者、または、2026年3月31日までに卒業見込みの者。

(2) 文部科学大臣の指定した者。以下の者を含む。

- ① 修業年限2年の短期大学に置かれた修業年限2年の専攻科
- ② 修業年限3年の短期大学に置かれた修業年限1年の専攻科
- ③ 高等専門学校に置かれた修業年限2年の専攻科

のいずれかであって、学位規則第6条第1項の規程に基づき大学評価・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定された教育機関を修了し、学士の学位を授与された者、または2026年3月31日までに学士の学位を授与される見込みの者。

(3) 本学大学院研究科の個別審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認定した者で、2026年4月1日現在で満22歳に達している者。

【社会人】

下記の(1)～(3)のいずれかを満たし、かつ(4)に該当する者。

(1) 大学を卒業した者。

(2) 文部科学大臣の指定した者。以下の者を含む。

- ① 修業年限2年の短期大学に置かれた修業年限2年の専攻科
- ② 修業年限3年の短期大学に置かれた修業年限1年の専攻科
- ③ 高等専門学校に置かれた修業年限2年の専攻科

のいずれかであって、学位規則第6条第1項の規定に基づき大学評価・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定された教育機関を修了し、学士の学位を授与された者、または2026年3月31日までに学士の学位を授与される見込みの者。

(3) 本学大学院研究科の個別審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認定した者で、2026年4月1日現在で満22歳に達している者。

(4) 次のいずれかに該当し、本学大学院研究科が適当と認めた者。

- ① 企業・行政体・教育機関等において、出願時に3年以上の実務経験を有する者。
- ② 上記と同等以上の社会的経験を有する者。

【留学生】

下記の(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ(4)に該当する者。

(1) 外国における正規の教育課程に基づく学校において、16年の課程を修了した者。

(2) 日本において外国人留学生として大学を卒業した者、または、2026年3月31日までに卒業見込みの者。

(3) 本学大学院研究科の個別審査により、前2項と同等以上の学力を有すると認定した者で、2026年4月1日現在で満22歳に達している者。ただし、日本において通常の課程による学校教育を受けた者と認定された外国人は除く。

(4) 日本語能力試験(JLPT) N2以上の者、または日本語留学試験(EJU)の日本語科目(読解、聴解及び聴読解)の得点が200点以上の日本語能力を有する者

2. 選考方法

筆記試験、面接試験、出願書類により総合的に判定します。

3. 試験科目

[一般]

時 間	試験科目・配点	内 容 等
10:30 } 12:00	英 語 (100点)	本学大学院研究科で用意する辞書使用可。
13:00 } 14:30	専門科目 (100点)	出願した分野の問題（現代社会分野と現代文化分野は社会学、社会福祉分野は社会福祉学）を選択。（論述形式）
15:00 }	面 接	研究計画を中心に行います。

[社会人]

時 間	試験科目・配点	内 容 等
13:00 } 14:30	専門科目 (100点)	出願した分野の問題（現代社会分野と現代文化分野は社会学、社会福祉分野は社会福祉学）を選択。（論述形式）
15:00 }	面 接	研究計画を中心に行います。

[留学生]

時 間	試験科目・配点	内 容 等
10:30 } 12:00	日 本 語※ (100点)	研究の遂行に必要な日本語の基礎的能力について試験を行います。 (辞書使用不可)
13:00 } 14:30	専門科目 (100点)	出願した分野の問題（現代社会分野と現代文化分野は社会学、社会福祉分野は社会福祉学）を選択。（論述形式）
15:00 }	面 接	研究計画を中心に行います。

※独立行政法人日本学生支援機構が、2024年もしくは2025年に実施する日本留学試験の必要科目（文系：日本語、総合科目）を本学出願期間開始までに受験し、日本語が原則として280点以上の成績を得た者は、その成績をもって日本語試験にかえることができます。

「日本語試験」を受験しない者は、受験票に明記された集合時間までに試験場に集合してください。

■社会学研究科 学内推薦 研究生推薦 (6 月試験)

1. 出願資格

[学内推薦]

本学のいずれかの学部を卒業した者で、下記の(1)～(3)までのすべてに該当する者。

- (1)成績優秀で、研究意欲と能力を有し、かつ卒業後3年以内の者。
- (2)下記に定める推薦条件を満たし、学部指導教員(演習担当教員等)の推薦を得ている者。
- (3)本学大学院研究科を専願する者。

学内推薦条件

卒業時の成績が、原則としてS評価、A評価併せて20科目以上とする。また、編入学生については、編入前の在籍校の成績と本学卒業時成績とを加算する。

なお、所定の科目数に満たない場合であっても、特色ある活動、資格等を考慮し出願を認める場合があるので、必ず出願期間前に学部事務室にお申し出ください。

〔例：社会福祉士、社会調査士、海外長期留学、海外交換留学、日本商工会議所簿記検定2級、実用英語技能検定2級、TOEIC®500点以上、基本情報技術者、学生論集に入選した者、上記に準ずる者〕

(注意事項)

以下の場合、必ず出願期間前に学部事務室にお申し出ください。

- ・社会学部以外の学部生
- ・3年次、4年次に演習を履修していない場合

[研究生推薦]

下記の(1)～(3)までの全てに該当する者。

- (1)出願時に本学大学院研究科に研究生として在籍している者。
- (2)本学指導教員の推薦を受けた者。
- (3)本学大学院研究科を専願する者。

2. 選考方法

面接試験、出願書類により総合的に判定します。

3. 試験日時・科目

《6月試験》 2026年6月14日(日)

[学内推薦] [研究生推薦]

時 間	試 験 科 目	内 容 等
13:00 }	面 接	研究計画について口頭試問を行います。